

きょうげんぶんらくなにはなし 「狂言文楽浪花話」

第三弾

～人形浄瑠璃と狂言の融合～



ええねん!

◆新作「狂言文楽浪花話」◆



酒屋の段より「お園のさわり」

◆文楽「艶姿め舞衣」◆

◆狂言「鐘の音」◆

◆お話と実演◆

山本能楽堂

平成21年3月26日(木)

昼の部 14:30 開演
夜の部 19:30 開演

一般 4,500円 〈前売 / 4,000円〉
高校生以下 2,500円 〈前売 / 2,000円〉
※全席自由

〈出演〉

狂言師 小笠原 匡
義太夫 竹本相子 大夫
三味線 鶴沢 清次
人形遣 吉田 玉佳
吉田 玉翔
吉田 玉譽
和太鼓 黒拍子



ええっ...延年!

◆お申込み・お問合せ◆ アトリエ オガ. 電話 06-6442-1577
<http://www.atelier-oga.com/>
E-mail: atelier_oga@yahoo.co.jp



きょうげんぶんらくなにはなむ 「狂言文楽浪花話」～人形浄瑠璃と狂言の融合～

～Eenen延年とは～

「延年」は平安朝にて盛んに執り行われた仏教儀礼であり、また様々な当時の芸能が一堂に会する日本で最初の芸能祭でもありました。本企画「Eenen延年」は和泉流狂言師・小笠原匡が、伝統芸能との狂言コラボレーションや、現在途絶えてしまった様々な芸能を現代風にリメイクすることにより、「延年」を現代の芸能祭「Eenen延年」として復活させる試みであります。

初回は出雲の阿国に焦点を当て、平成版「阿国歌舞伎」として見事に復活させ、また前回は平家琵琶と狂言を融合させた「延年版・平家物語」を上演し大好評を得ました。今回は、我が国の伝統的な人形劇「文楽」と庶民喜劇「狂言」とのコラボレーションを上演。

～狂言とは～

狂言は600年前に誕生した庶民喜劇で、庶民の日常的な出来事を、笑いを通して表現する、科白・喜劇です。内容は◆「笑う門には福来る」というおめでたい「祝言の笑い」◆人間誰しもが持っている弱点をユーモラスに指摘する「風刺の笑い」◆単なる滑稽性だけでなく、笑みの中に楽しみを含んだ「和楽の笑い」という、三つに分類されます。登場人物も、2～5人と少なく、装置や小道具も殆ど必要としないので、どんな舞台でも手軽に演じられます。

～文楽とは～

「文楽」は、わが国の伝統的な人形劇であり、世界に誇りうる高度な舞台芸術の名称で、古くは操り浄瑠璃芝居あるいは人形浄瑠璃といいました。つまり、浄瑠璃にあわせて演じる操り、すなわち人形芝居という意味です。そして、文楽が世界に誇れる芸術である理由も地の音楽の「浄瑠璃」と独特の人形操法である「三人遣い（一体の人形を三人がかりで動かす）」の様式に帰します。世界に人形劇は数えきれないほど存在しますが、それらは全てが単純な内容の神話やおとぎ話を扱ったもので、文楽のように一日がかりのシリアスな長いドラマを展開するものはありません。

お供から だれし
小笠原 匡



和泉流狂言師
初世 野村萬(芸術院
会員・人間国宝)
故5世野村万之丞
9世野村万蔵に師事。
すでに狂言の大典
「奈須与市語」
「三番叟」「釣狐」
「金岡」「花子」を
抜く。

また、新作狂言「鉢かづき」などの作・演出を手がける。さらに、能・狂言・文楽・落語・講談・和太鼓という6つのジャンルのコラボレーションをめざした「風流」を主宰して、「刀こぶ」「良忍さん」「石川五右衛門」などを作・演出する。2005年はNHK大河ドラマ「義経」2006年はNHK金曜時代劇「出雲の阿国」の芸能指導を担当した。2007年には「鼓童と狂言のコラボレーション・蓬萊貴譚」を作・演出した。現在狂言関西支部代表、重要無形文化財総合指定保持者、千葉大学客員教授、和太鼓集団「鼓童」講師

～番組～

◆お話と実演◆

狂言/小笠原匡 文楽/吉田玉翔 竹本相子大夫 鶴沢清次

狂言と文楽についての知識や演技方法を演者がそれぞれ実演を交え解り易く説明致します。

◆狂言「鐘の音」◆

シテ/小笠原匡 アド/泉嶺也

元服した息子の為、黄金造りの刀を差させようと、主人は太郎冠者に鎌倉へ行き「金の値(かねのね)」をきいて来いと命じます。間抜けな太郎冠者は「鐘の音」と勘違いして、鎌倉の寺々を回って鐘の音をきき比べて帰って来ます。しかし冠者が主人に各寺の鐘の特徴を得たと報告すると、主人は怒り出し・・・。

◆文楽「艶姿女舞衣」酒屋の段より～お園のさわり～◆

義太夫/竹本相子大夫 三味線/鶴沢清次 人形/吉田玉佳

大阪上塩町(天王寺区)の酒屋・半七は芸人・三勝と深くなじみ、妻のお園を置いて出走、殺人の咎まで負ってしまいます。残されたお園は、それでも半七の身を案じます。

◆新作「狂言文楽浪花話」◆

創作・演出/小笠原匡 大木/小笠原匡 塩昆布売り/吉田玉翔・吉田玉登 客席/黒拍多 他
祭りの夜に、供を連れず自ら太刀を持って見物に出かけた大名が、通りがかった堺の塩昆布売りを呼びとめ、無理に同道を強いる。散々に脅かされて無理やり太刀まで持たされた塩昆布売りは、やがて塩袋の緒が切れて・・・。「ユネスコ世界無形遺産認定」である「狂言」と「文楽」の歴史的にも初めてのコラボレーション作品であり、各界より大絶賛を頂いている話題作です。

たけもとあいでゆう
竹本相子大夫



四代竹本相子大夫入門
平成20年十三夜賞受賞

つるさわ せいじよう
鶴沢 清次



鶴沢清次入門
平成20年36回
文楽協会賞受賞

よしだ たまか
吉田 玉佳



吉田玉男入門
19回映くやこの花賞受賞
34回文楽協会賞受賞

よしだ たましよう
吉田 玉翔



吉田玉男入門
新作「石川五右衛門」
(作・演出小笠原匡)

よしだ たまよ
吉田 玉誉

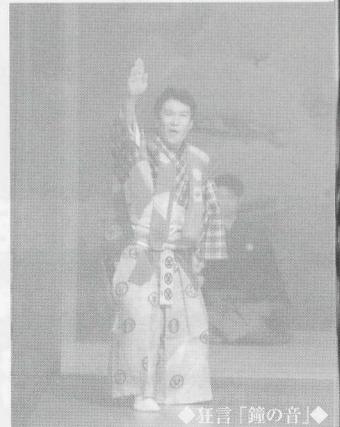


吉田玉男入門
新作「良忍さん」
(作・演出小笠原匡)

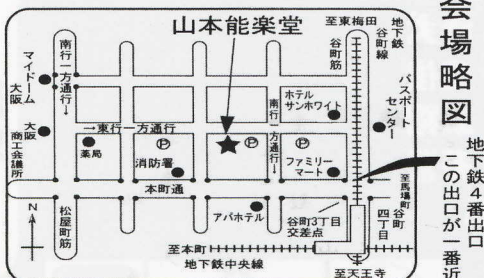
やすだ のりゆき はらふし なみ
安田 典幸 服藤 菜美



和太鼓「鼓童」にて2年間の研修後、黒拍子を結成、
現在活動中「平成版 阿国歌舞伎」(作・演出小笠原
匡)に出演



◆狂言「鐘の音」◆



●地下鉄「谷町4丁目」下車
④出口より一つ北の辻左へ100メートル南側
●駐車場はございません。車でお越しの際は
お近くの有料駐車場をご利用下さい。

会場略図

地下鉄4番出口
この出口が一番近道です



◆文楽「艶姿女舞衣」◆

公演日時：平成21年3月26日(木)

会場：山本能楽堂 大阪市中央区徳井町1-3-6

料金：一般 4,500円(前売/4,000円)

高校生以下 2,500円(前売/2,000円)

お申込み・お問合せ：06-6942-1577(Tel/Fax)

企画・制作：アトリエ オガ。